

<別紙資料> 花粉症患者における治療の満足度調査

1. 患者調査概要

対象：2013年、春の花粉症治療のために医療機関で飲み薬を処方された患者 2,600名

地域：全国

調査期間：2013年12月3日-12月9日

手法：インターネット調査

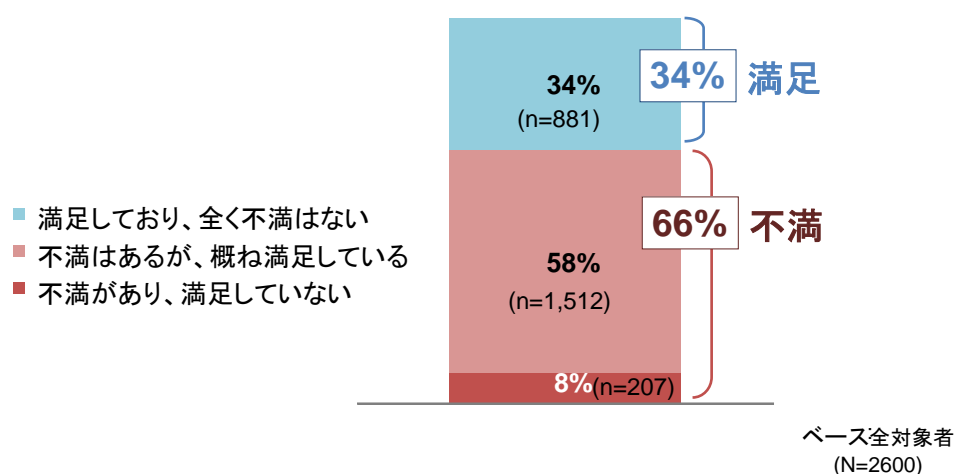
	16～19歳	20代	30代	40代	50代
男性	152名	251名	225名	203名	228名
女性	246名	342名	310名	380名	263名

*別途出現率調査を行い、各性別×年代で Weight をかけて全国値として扱っています。

*国内最大規模のアンケートモニターを保有している(株)クロスマーケティングのパネルを使用しました。

2. 主な調査結果

【グラフ1】花粉症治療に対する満足度 (単一回答)



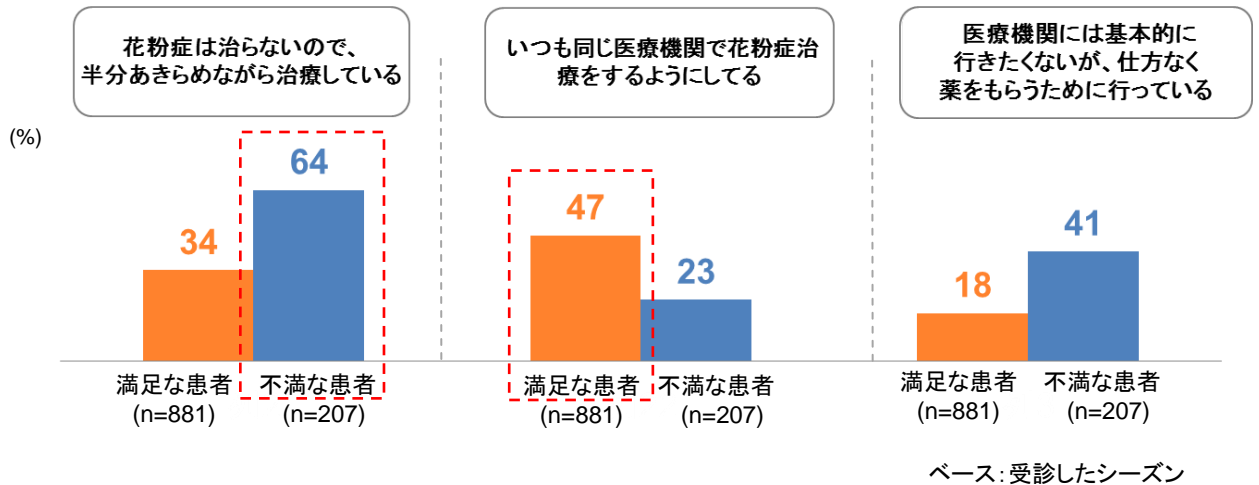


❖ 以降のグラフは、花粉症治療に「満足しており、全く不満はない」と回答した「満足な患者」(n=881)と、「不満があり、満足していない」と回答した「不満な患者」(n=207)の治療に対する考え方や治療実態の違いに焦点を当てています。「不満があり、概ね満足な患者」(n=1,512)は全体的に「不満があり、満足していない患者」と同様の回答傾向が見られていますので以降のグラフには含めておりません。

【グラフ 2】 花粉症治療についての考え方 満足度別 (複数回答)

※満足な患者と不満な患者の、回答の差が大きかった上位 3 項目

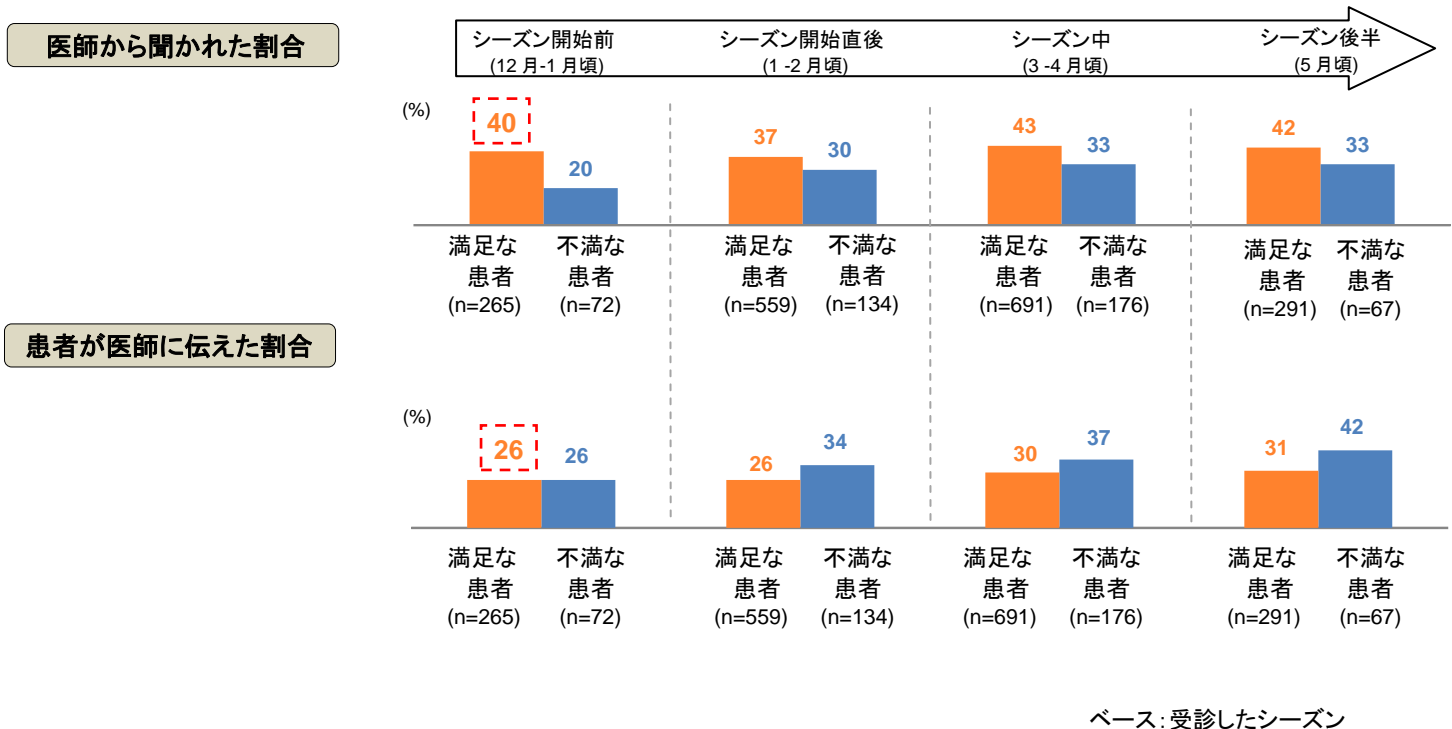
花粉症治療の意識・行動のギャップ



【グラフ 3】 花粉症の各シーズンで、「症状の変化について医師から聞かれた割合/自分から伝えた割合」
花粉症治療に対する満足度別 (単一回答)

医師と患者のコミュニケーションのギャップ

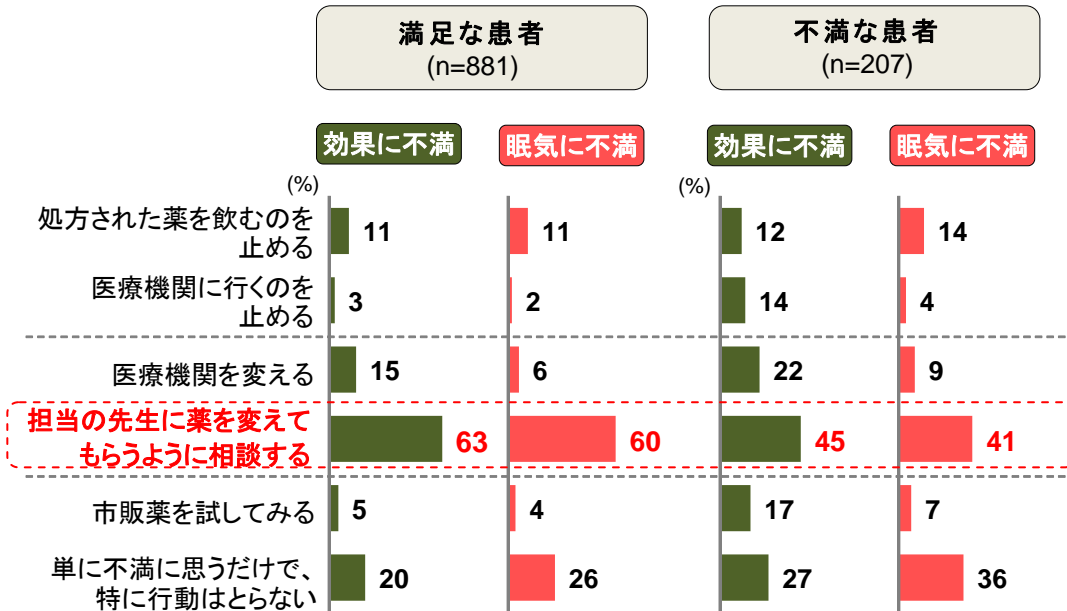
症状の変化について...





【グラフ 4】 治療薬の満足度と不満時の行動
花粉症治療に対する満足度別 (複数回答)

薬の効果に不満な時の行動のギャップ



ベース:全対象者